

2022年03月30日

東急不動産株式会社

「リエネ玉野太陽光発電所」に交流スペース設置

～周辺環境との調和と地域の憩いの場に～

東急不動産株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：岡田 正志、以下「当社」）は、岡山県玉野市にて稼働中の「リエネ玉野太陽光発電所」において、2022年3月22日、交流スペース整備工事が完了し、発電所全体が完成致しましたのでお知らせいたします。

本発電所は周辺住宅地と近接している、という立地特性を考慮し、自社敷地のみでなく周辺敷地も含めた発電所入口付近の一体整備を行いました。周辺環境との調和を図ると共に、地元の方々に憩いの場として活用いただける交流スペースを設けることで、親しみを持って頂ける発電所を目指しています。

リエネブランドの再生可能エネルギー発電所では今後も各発電所の立地特性を鑑み、地域と調和した発電所建設を進めて参ります。

■ 本発電所における取り組み

リエネブランドの再生可能エネルギー発電所では「私たちの5つの取り組み」として「地域社会とのつながり」をキーワードとしており、本発電所はキーワードの具現化の為、交流スペースにて以下の取り組みを行っております。

- ①シンボルツリーとなるウミネコザクラの設置/サークルベンチの設置
- ②災害時等にスマートフォン充電が可能なソーラー照明や、かまどベンチの設置
- ③周辺環境との調和を目的とした生垣・門扉の設置
- ④地元の方に再生可能エネルギーに興味、親しみを持っていただけるような仕組み整備



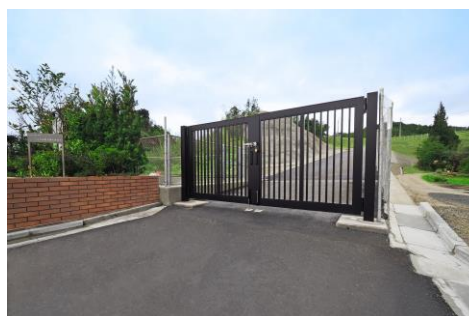
サークルベンチ



ソーラー照明



かまどベンチ



門扉



エントランスエリア利用イメージ



発電所空撮写真

■ 本発電所の概要

名称：リエネ岡山玉野太陽光発電所

場所：岡山県玉野市

発電容量：4.99MW（定格出力）

年間想定発電量：7,575,150kWh（一般家庭約 1,656 世帯分の年間使用量に相当します）



■ 東急不動産の再生可能エネルギー事業「ReENE（リエネ）」について

当社は、「ReENE（リエネ）」という事業ブランドで、再生可能エネルギー事業を展開しています。「Re-Creating the Value（未来に、新しい価値を）」と「Edit Next Energy（次の時代を作るエネルギーを）」という2つの志を組み合わせ、2018年に誕生しました。

これまで当社は、総合不動産デベロッパーとして都市再開発、宅地やリゾートなど大規模な街づくりをはじめ、多岐にわたる開発事業を行ってきました。地域・社会・環境にかかわる様々な課題とも向き合い解決策を模索する中で培われてきた経験はリエネの中でも活かされています。

当社は、2016年に専任部門を設立して本格的な取り組みを開始しました。「脱炭素化社会の実現」「地域との共生と相互発展」「日本のエネルギー自給率の向上」の3つの社会課題の解決を掲げ、これまでに79件（定格容量1,306MW）の事業に携わってきました。2022年2月末現在で全国59か所の太陽光発電所、3か所の風力発電所を稼働し、バイオマス発電所を含む17か所の発電所の開発を進めています。

今後も、再生可能エネルギーの成長とともに、再生可能エネルギーをベースとした地域社会へのソリューション提供を図ってまいります。



リエネ銭函風力発電所
(北海道小樽市)



リエネ長南太陽光発電所
(千葉県長南町)



ReENE ホームページ <https://tokyu-reene.com/>

■ 長期ビジョン「GROUP VISION 2030」の取り組みテーマとSDGsの取り組み

東急不動産ホールディングスグループは、2021年5月に長期ビジョン「GROUP VISION 2030」を発表しました。「WE ARE GREEN」をスローガンに、誰もが自分らしく、いきいきと輝ける未来を実現します。価値を創造し続ける企業グループをめざして、重視する社会課題から抽出した6つのテーマに取り組み、SDGsの達成に貢献していきます。

本リリースにおける取り組みテーマ（マテリアリティ）

ウェルビーイングな街と暮らしをつくる

サステナブルな環境をつくる

貢献する SDGs



東急不動産ホールディングスグループ「GROUP VISION 2030」について
<https://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/group-vision-2030/>

以上